F06712R

施工説明書

2013.9

特定保守製品

日本国内専用

TOTO

浴室暖房乾燥機

TYR620型

■この製品は、平成21年4月1日施行の消費生活用製品安全法(消安法)で指定される「特定保守製品」です。
■製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
■取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では製品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示	意味	表示	意味
⃠	一般禁止	⚠	回転物禁止
⃠	分解禁止	⏚	アースを必ず接続せよ
❗	必ず実行		

⚠警告

ファンやヒーターに触ったり、物を差し込まない	感電、けが、やけどのおそれがあります。
内釜式ふろを設置した浴室では使用しない	排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
温泉水などを引き込んでくる浴室では使用しない	製品が腐食して、漏電や製品が故障するおそれがあります。
本体を断熱材で覆わない	火災の原因になります。
絶対に分解したり、修理、改造は行わない	火災、感電、けがの原因になります。
電源電線の接続は確実に行う	不適切な接続をすると過熱し、火災の原因になります。

《工事における注意項目》
・電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行う。
・電源コードは φ1.6mmまたは、φ2mmの単線（VVFケーブル）を使用し、確実に接続する。・より線は使用しない。
・圧着端子の接続には、それぞれの端子に合った、JISに定められた専用圧着工具を使用する。
・電源ケーブルは確実に接続、固定する。また差し込み不足に注意する。　・改造は絶対にしない。
・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。　・ねじ止め時は、インパクトドライバーを使用しない。

《設計・設置上の確認項目》
・浴室は湿度が高いため、分電盤に漏電遮断器を設ける。　・機器容量にあった専用ブレーカーを取り付ける。
・電力会社との契約電気容量が不足している場合は、追加工事を行う。

《工事前の確認項目》
・電気工事は必ず分電盤の浴室換気暖房乾燥機用ブレーカーを切って行う。　・電源電圧を間違えないように注意する。
・電源ケーブルを束ねたまま配線しない。　・電源ケーブルなど、機器の配線は、発熱する器具（ダウンライトや浴室換気暖房乾燥機）から離して設置する。
・メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属張りの木造建築に金属ダクトが貫通する場合は、電気的に接触しないように取り付ける。
・屋内配線は φ1.6mmまたは、φ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続する。
・より線は使用しない。接続が不十分だと火災のおそれがあります。

単相AC200V電源以外では使用しない	火災・感電の原因になります。
アース(D種接地)工事がされていることを確認する	アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事はお近くの工事店にご依頼してください。

⚠注意

ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない	ランドリーパイプが過熱し、やけどや衣類が変色するおそれがあります。
本体を雨漏りなどでぬれる場所に取り付けない	故障の原因になります。
運転中、ファンやルーバーに触れたり、物を差し込まない	回転による傷害のおそれがあります。
機器の取り付けは、施工説明書に基づいて行う 製品質量に耐えるよう施工方法に従って取り付ける【TYR620型：7.3kg】	本体落下による傷害のおそれがあります。

お願い

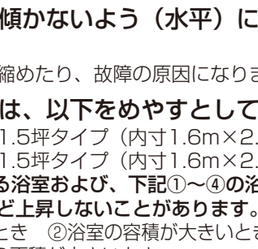
■製品本体は傾かないよう（水平）に設置してください。
製品の寿命を縮めたり、故障の原因になります。

■浴室の広さは、以下をめやすとしてください。
ユニットバス1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで、
在来工法浴室1.5坪タイプ（内寸1.6m×2.4m）まで
1.5坪を超える浴室および、下記①～④の浴室では、室温がほとんど上昇しないことがあります。
①窓が大きいとき　②浴室の容積が大きいとき
③タイル貼りの面積が大きいとき
④その他、浴室の密閉性や断熱性が悪いときなど

■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けないでください。
故障の原因になります。

■製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。
（地域によっては、火災予防条例にもとづく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。）

設置時の条件
①設置場所は一般住宅の浴室に限ること。
②本体は壁面に堅固に取り付けること。
③浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方150mm未満の範囲内には、造営材など（乾燥する衣類、照明　器具、手すりを含む）を設けないこと。（熱による変形、変色のおそれがあります）
④漏電遮断器を設けること。



■一般家庭の浴室に取り付けてください。

■TOTO製以外のユニットバスで鋼板の厚さが0.45mm未満の場合は壁補強を行ってください。

■温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けないでください。

■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けないでください。

■油煙の発生する場所に取り付けないでください。

■スプレーを使う場所に取り付けないでください。

■高温になる場所に取り付けないでください。

■本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5m以上離して施工してください。

■工事の際に、製品本体内部へ石こうボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。

■樹脂製部品取り付けの際は、ねじを締めすぎて製品を破損させないよう、締付力に十分注意してください。

■効果的な換気のため、吸気口を必ず設置してください。

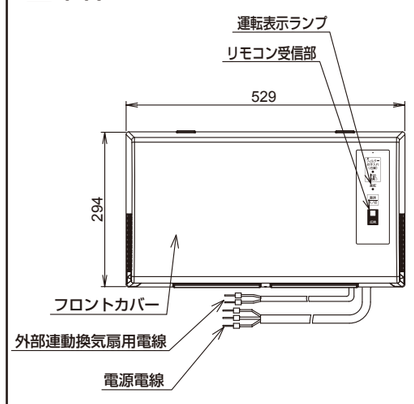
■本体、リモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。

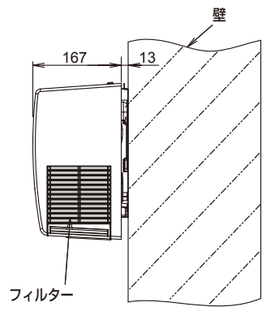
■ランドリーパイプの取り付け位置は、当社推奨位置の寸法で取り付けてください。
(指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)

各部の名称と寸法 お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

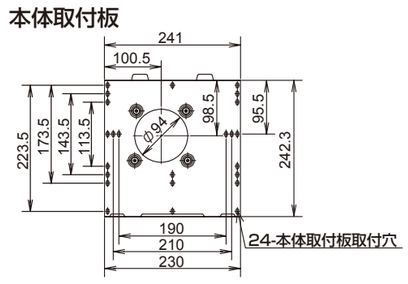
■本体

単位：mm



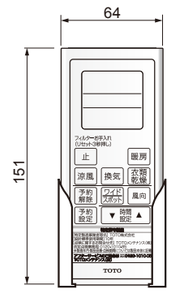


本体取付板

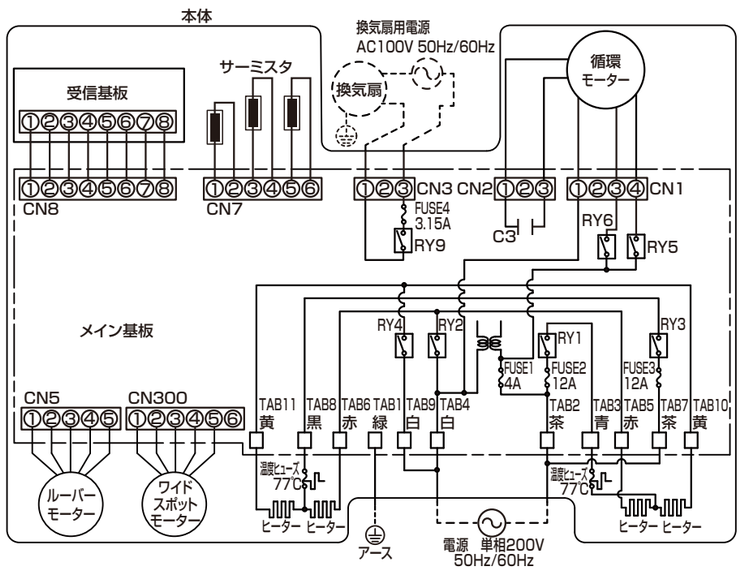


■リモコン

落下防止チェーン(300mm)付



■結線図



■付属品　末尾の数字は数量をあらわします。

- タッピンねじ（φ4×50）……6（本体取付板取り付け用）
- タッピンねじ（φ4×16 黒）…2（本体取り付け用）
- タッピンねじ（φ4×16）……2（リモコンホルダー取り付け用）（リモコンホルダー裏面に付属）
- 差込形コネクタ……5（電線接続用）
- キャップ……5（電線接続用）
- 棒端子……2
- 取扱説明書……1（必ずお客様にお渡しください）
- 施工説明書（本書）……1
- 取付設置業者様へのお願い……1
- 乾電池（単4形）……2

■所有者票セット

・所有者票
・特定保守製品説明チラシ
・個人情報保護シート
……1セット
（必ず特定保守製品取引事業者またはお客様にお渡しください）

■保証書……1

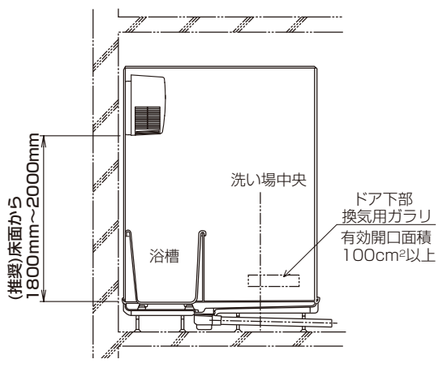
（取扱説明書に付属）
（必ずお客様にお渡しください）

■現場で用意してください。

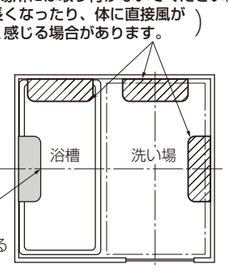
電源電線	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	ー
アース線	銅線直径φ1.6以上（または断面積が2mm²以上）	適宜	アース工事用
アース棒	ー	適宜	ー
防水ジョイントボックス	WJ4100（パナソニック(株)製）相当品（外壁で電線を接続する場合）	1個	電源接続用
ジョイントボックス	WJ3107（パナソニック(株)製）相当品（天井裏で電線を接続する場合）	1個	
ランドリーパイプ	TYR501型またはTYK509型（別売品）	1本	衣類乾燥用
合成樹脂管	内径φ40以上の塩ビ管など	適宜	電源取出用
ケーブル用モール	（天井裏で電線を接続する場合）	適宜	ー
アンカープラグ	タイル壁・モルタル壁の場合、壁材に合わせて用意してください（木枠・ユニットバスの場合は、アンカープラグは必要ありません）	適宜(6本)	本体取付板固定用
タッピンねじ	φ4・SUS304製（ユニットバスで建築躯体とのすき間が小さい場合）	適宜(6本)	本体取付板取り付け用
シリコンコーキング材・パテなど	ー	適宜	コーキング用
ロングドライバー	ー	ー	本体取り付け用

1 設置位置の決定

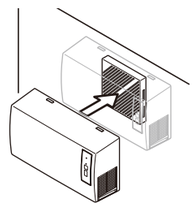
1.背後の浴室壁面または浴室天井面に、電源電線および外部連動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあける。取り付けには、必ずお客様の了承を得て、穴をあけても支障のない面を選ぶこと。



本体はこのような場所には取り付けないでください。
（乾燥時間が長くなったり、体に直接風が当たって寒く感じる場合があります。）



本体は既存の換気扇の上には取り付けないでください。
（換気できなくなります。）

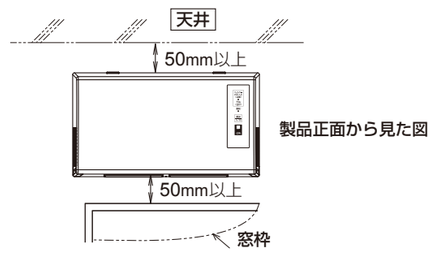


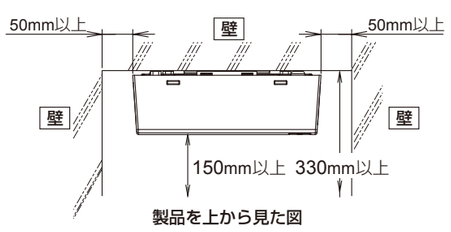
リモコンは洗い場側の壁面に取り付けてください。
（浴槽側に取り付けると、リモコンで操作しても反応しない場合があります）

2.本体の周囲に適切なすき間があること。さらにこの範囲には造営物(照明器具・手すりなど)を一切設置しないこと。
（確保できない場合は、性能を十分に発揮できなかったり、浴室壁面、造営物を熱によりいためることがあります。）

■製品天面から天井面まで、50mm以上
■製品左側面から壁面まで、50mm以上
■製品右側面から壁面まで、50mm以上
■製品正面から障害物まで、150mm以上
■製品底面から窓枠まで、　50mm以上
■窓枠は壁面より15mm以下の出っ張りであること。

壁面の耐熱温度が低い場合は、上記以上に壁面と本体の距離を確保してください。





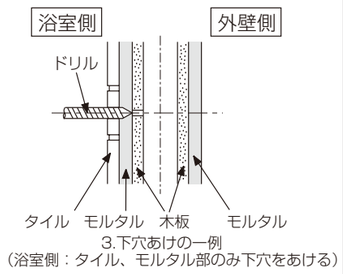
製品を上から見た図

3.リモコンは本体が受信できる位置に取り付ける。
（製品を取り付けている壁面への設置はしないでください）

2 本体取付板の設置

1.本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、本体取付板
ねじ穴位置（6カ所）の印を壁に付ける。

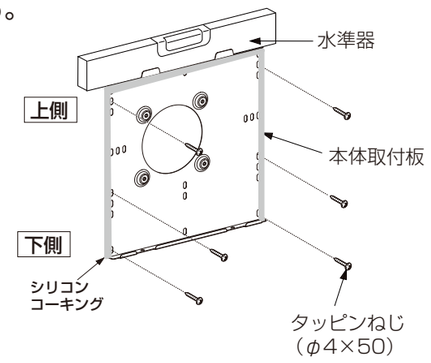
2.下穴をあける前に、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、
水準器を使用して水平度を再度確認する。



3.下穴あけの一例
（浴室側：タイル、モルタル部のみ下穴をあける）

3.本体取付板ねじ穴位置に下穴をあける。
■浴室の内・外壁の現状確認を行い、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修を行っておいてください。
■タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。
■ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
■下穴径は、壁面の材質に合わせてあけてください。
※ユニットバスの場合、下穴径φ2.8以下とする。

4.本体取付板を浴室の壁にタッピンねじ（6個）で取り付ける。
■この製品は7.3kgあります。本体取付板は、堅固に、また確実に浴室の壁に密着するように取り付けてください。
■タイル壁・モルタル壁の場合、市販のアンカープラグを使用して、確実に取り付けてください。
■ユニットバスの場合、下穴にシリコンを注入し、ねじは手締めして取り付けてください。
※ユニットバスと建築躯体間のすき間が小さい場合、躯体を傷つけないよう市販の短いタッピンねじ(φ4・SUS304製)を使用してください。
■水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。

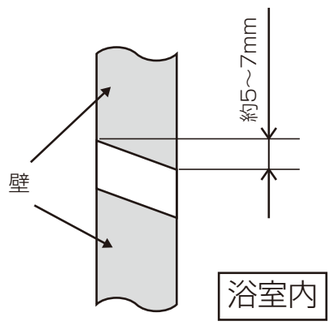


5.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲（下辺を除く）
およびねじ止め部をシリコンにてコーキングする。
■水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。

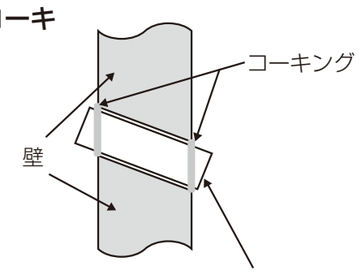
3 電線取出穴をあける

外壁で電線を接続する場合

1.本体取付板の丸穴（φ94）内の適当な位置に
電線取出穴をあける。
■電線取出穴は壁裏センサーを用いるなどして、壁裏の間柱、筋かい、ユニットバスの補強桟などを回避してください。
■電線取出穴の穴径は、使用する合成樹脂管（内径φ40以上）の外径に合わせてください。
■浴室から水漏れ防止のため、電線取出穴に右図のように勾配をつけてください。



2.電線取出穴に市販の合成樹脂管（内径φ40以上）を通し、コーキングで固定する。
■合成樹脂管は、コーキング代として、壁厚より10～15mm長く切断してください。また、切断した端面は、リーマーなどで端口の処理を行ってください。



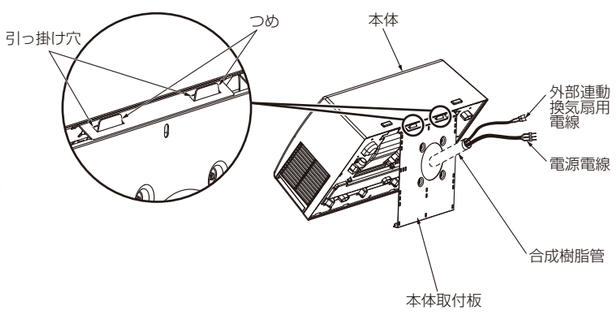
天井裏で電線を接続する場合

1.天井面の壁面に近い適当な位置に電線取出穴をあける。
■電線取出穴の穴径は、φ40で開けてください。

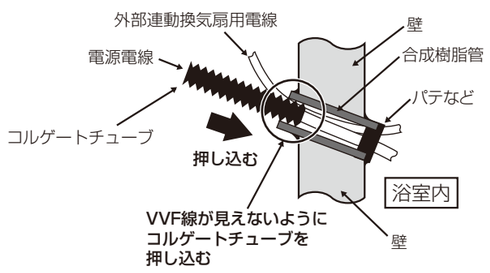
4 本体の取り付け

外壁で電線を接続する場合

1-1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のつめに
引っ掛ける。そのままの状態で本体の電
源電線と外部連動換気扇用電線を合成樹
脂管に通す。
■本体取付板の丸穴（φ94）の端面で電源電線および外部連動換気扇用電線を破損しないよう十分注意してください。



1-2.湿気やすき間風などがもれないよう、
合成樹脂管の浴室側をパテなどで仕上
げる。
■合成樹脂管からVVF線が見えている場合は、結束バンドを切って、コルゲートチューブを合成樹脂管の中に入れ、VVF線を必ずカバーしてください。



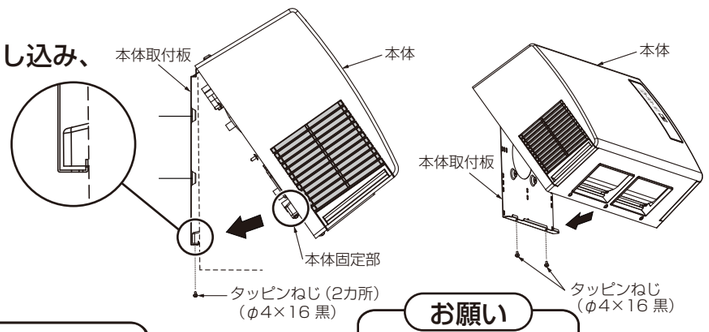
天井裏で電線を接続する場合

1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のつめに引っ掛ける。

共通

2.本体固定部を本体取付板の上側に差し込み、
本体を固定する。

お願い
本体固定部が本体取付板の上側に入っていないと固定できません。



3.本体取付板と本体を付属の
タッピンねじ（2個）で固定する。

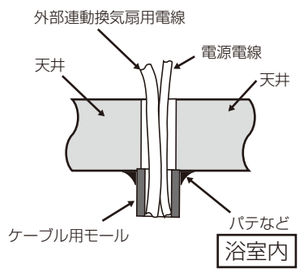
⚠注意
忘れずに必ず固定してください。
（ロングドライバーにて手締めで取り付けてください）
ねじ締め後、確実に固定されていることを確認してください。

お願い
本体の奥にあるので
フロントカバーの切り
欠き部を参考に位置を
確認してください。

天井裏で電線を接続する場合

4.電源電線および、外部連動換気扇用電線を天井裏へ通し、
浴室内に露出している電源電線および外部連動換気扇用
電線をケーブル用モール等で覆う。

5.湿気やすき間風などがもれないよう、天井に開けた穴
の浴室側をパテなどで仕上げる。

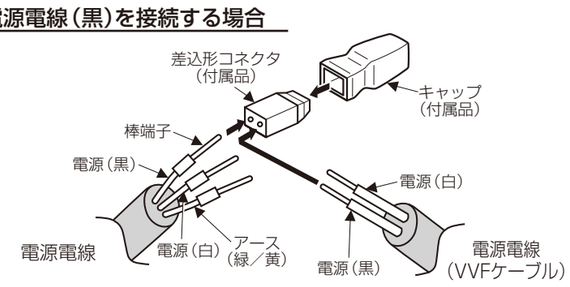


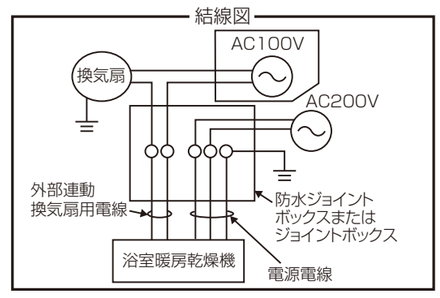
5 電源の接続

1.ジョイントボックス（市販品）の中で、電源電線（アース線含む）および外部連動換気扇用電線を
付属の差込形コネクタを使い、右下の結線図に従って結線する。

2.差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせる。（5カ所）

電源電線（黒）を接続する場合



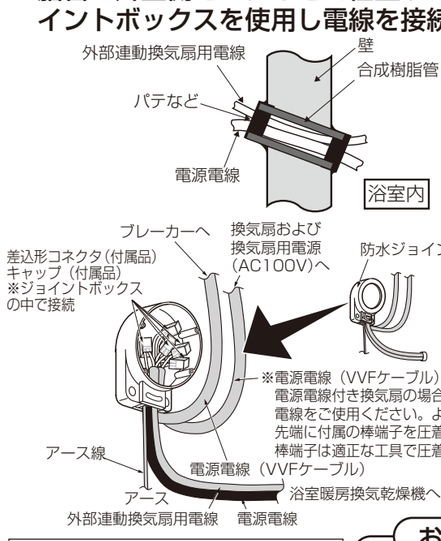


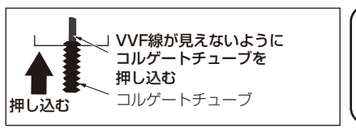
■電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
■電源電線のアース線（緑／黄）は必ず接続してください。[D種設置工事]
■電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。
細い心線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
■外部連動換気扇用電線は途中で切断しないでください。
■換気扇のアース線は絶対にはずさないでください。
■プラグは使用しないでください。
■電源は必ずAC200Vを使用して、各電源電線先端の棒端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。
■換気扇用壁スイッチは使用できなくなりますので、スイッチカバー等でふさいでください。
■電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。

外壁で電線を接続する場合

必ず防水タイプのジョイントボックスを使用してください。

3.湿気やすき間風などがもれないよう、合成樹
脂管の外壁側をパテなどで仕上げ、防水ジョ
イントボックスを使用し電線を接続する。

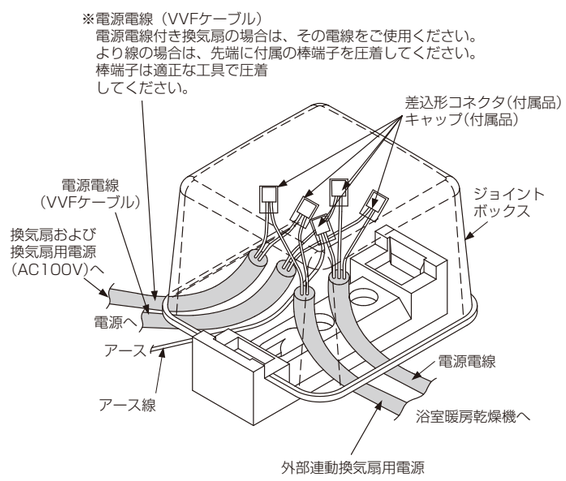




お願い
室外ではVVF線が露出しないようにコルゲートチューブで覆ってください。

天井裏で電線を接続する場合

3.ジョイントボックスを使用し電線を接続する。



6 リモコンの取り付け

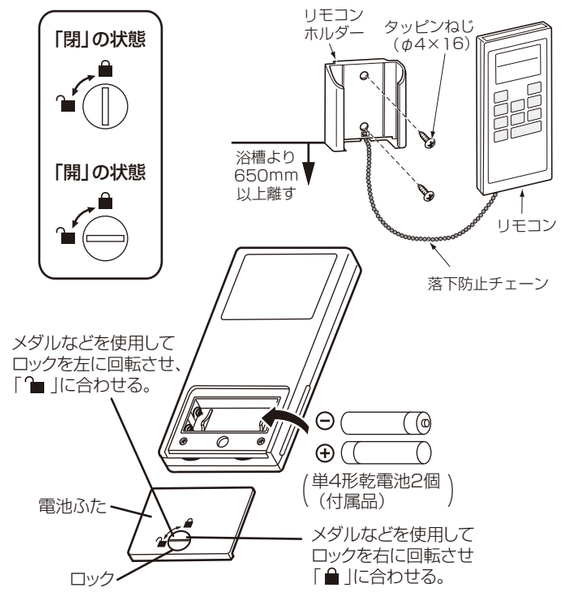
1.取り付け位置を決定する。
■リモコンには約300mmの落下防止チェーンが付いています。
（取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください）

浴室外設置の場合
■浴室のドアを開けてリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

浴室内設置の場合
■シャワーなどの水がかかりにくい場所に設置してください。
■浴槽の上は避けてください。
■取り付ける高さは浴槽より650mm以上高くしてください。
■洗い場側の壁に取り付けてください。
（製品を取り付けている壁面への設置はしないでください）

2.リモコンホルダーを付属のタッピンねじ（2個）
で固定する。
■取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが取り付かないことがありますので、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理を行ってください。
はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

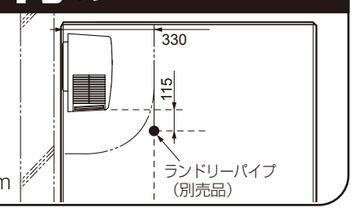
3.リモコンに電池を入れる。



お願い
■電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。
ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
■電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。

7 ランドリーパイプの取り付け

右記の位置に、ランドリーパイプ（別売品）を取り付ける。
■指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。



8 試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転を行い異常がないか確認する。
異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな!?」のページを参照する。
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

＜試運転の内容＞
1．各モードのボタンを押して、正常に動作していることを確認する。（全モード）
2．止ボタンを押して、運転を停止させる。

9 確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。

チェック内容	チェック欄
製品はしっかり付いていますか？	
製品の周囲に適切なすき間がありますか？（[1] 設置位置の決定を参照）	
ランドリーパイプの取り付け位置は正しいですか？（[7] ランドリーパイプの取り付けを参照）	
異常音はありませんか？	
電源電線・アース線の接続は確実に行われていますか？	
電源は単相AC200Vに接続されていますか？（AC100Vに接続されると動作しません）	

試運転のあとは

■工事店様へ
施工後は、同梱の「取扱説明書（保証書付き）・所有者票セット」をお客様へお渡ししてから、製品の使いかたを説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。